

「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料

関東農政局統計部

【埼玉県の概要】

図 水稲の作柄表示地帯別
10a 当たり収量及び作況指数

1 水稲

- (1) 埼玉県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は3万1,900haで、前年産に比べ100ha減少した。

また、主食用作付面積は3万600haとなった。

- (2) 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数がやや多いとなったことから「やや多い」となり、登熟は、出穂期以降、天候がおおむね順調に推移したことにより「やや良」となった。

- (3) この結果、埼玉県の10a 当たり収量は496kgで、前年産に比べ14kg増加した。

また、作柄表示地帯別では、東部で508kg（前年産に比べ18kg増加）、西部で471kg（同6kg増加）となった。

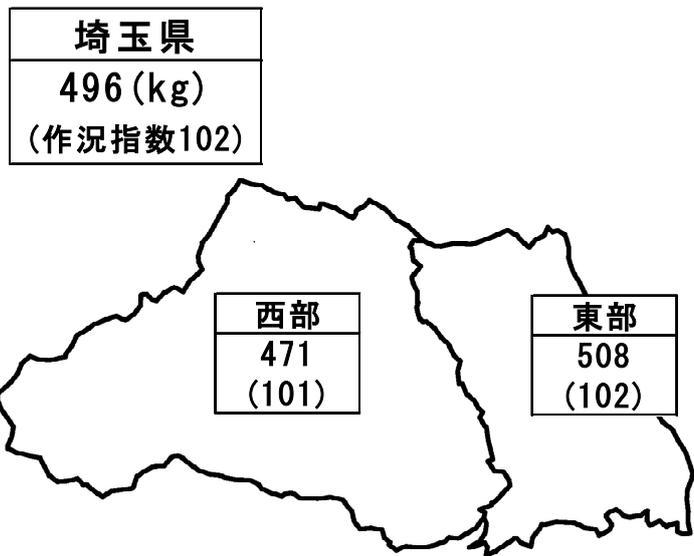
なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された埼玉県の作況指数は102となり、作柄表示地帯別では、東部で102、西部で101となった。

- (4) 以上のことから、収穫量（子実用）は15万8,200tで、前年産に比べ4,000t増加した。

また、主食用作付面積に10a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は15万1,800tで、前年産に比べ2,900t増加した。

2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

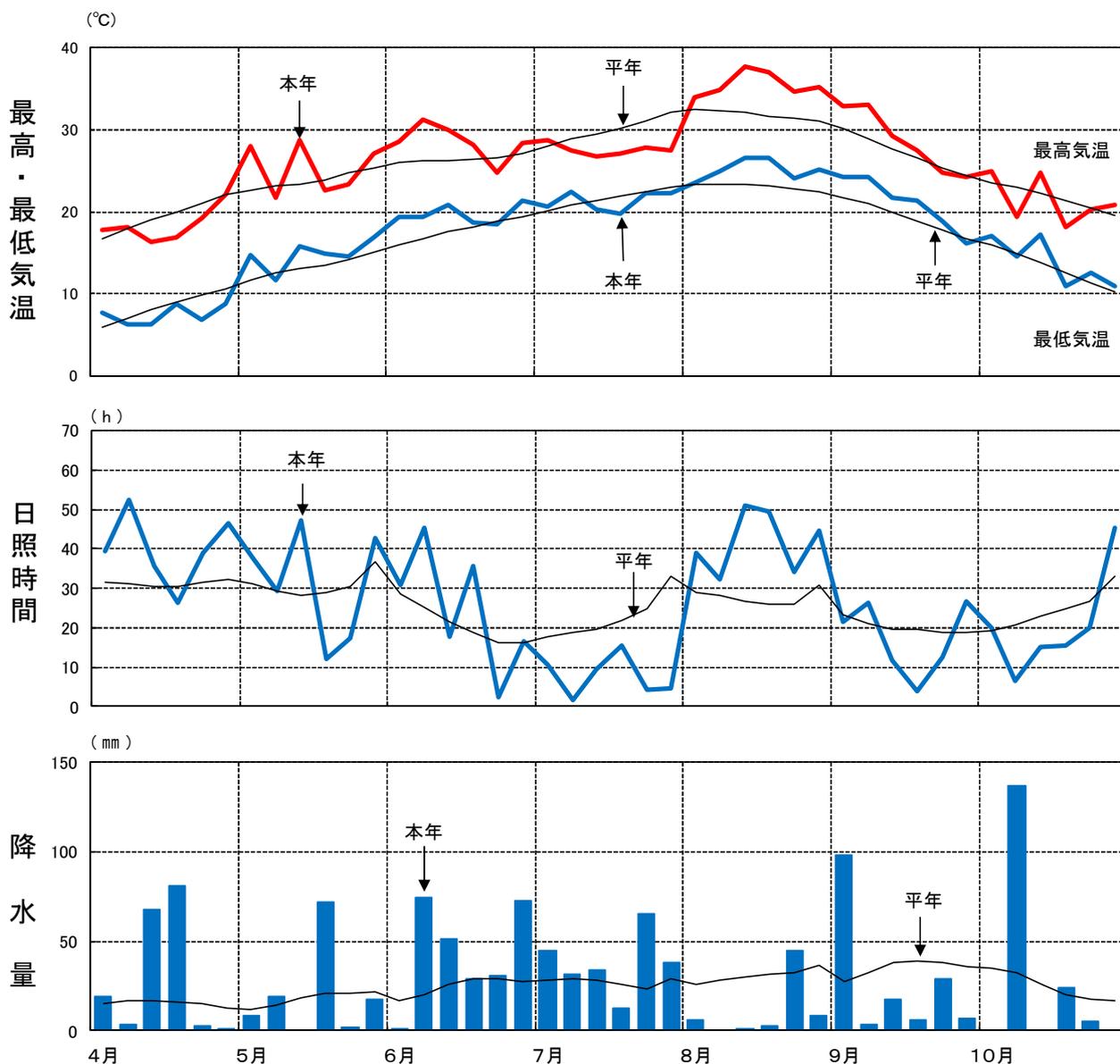


○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（熊谷）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。

なお、()内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 統計部 統計調査チーム
 電話：048-740-1016
 FAX：048-740-5923